

# 再犯防止に関する矯正施設との意見交換

日 時：令和3年11月25日（木）

参加者：濱崎、刈茅（くるめ支え合うプラン推進協議会委員）

上原、原（市地域福祉課）、川原（市生活支援課）、中原（市社会福祉協議会）

## 福岡刑務所（宇美町）＝ 犯罪傾向が進んでいる人を収容



刑務官の皆さんとの意見交換



作業場の様子

### 【収容者の状況】

近年は、収容者数が減少する一方で、受刑者も高齢化し、介護が必要な人や身寄りのない人も多くいます。また、障害のある人もいて、特に、知的障害がある人などは再犯までの期間が短い傾向にあるそうです。

### 【支援内容】

円滑な社会復帰に向け、薬物依存からの離脱指導や性犯罪の再犯防止指導など、受刑者が個別に抱える課題を改善する指導も行っています。作業の割り振りは、本人の能力や特性、人間関係などを考慮。出所後の就労に役立つよう、希望に応じて、高卒認定や各種資格を取得することもできるそうです。

### 【課題等】

所内での生活は、指導や指示に従い、担当の受刑者が行うため、自分で炊事や洗濯をする必要もありません。そのため、出所後、自立した生活が難しい人も。帰住先未定のまま満期釈放になりそうな人には、出所後の帰住先や就職先の調整も行っているそうですが、「何とかなるからほっといてくれ」と支援を断る受刑者もいて、対応に苦慮されているようです。

## 筑紫少女苑（福岡市東区）＝女子を収容する少年院



マインドフルネスで  
瞑想をする在院者



筑紫少女苑の中庭。自由時間などに外  
に出て日を浴びたり体操したりします

### 【入院者の状況】

少子化等の影響で、入院者数は減少傾向です。犯罪の傾向は「集団」から「個」へと変わってきていて、障害や寂しさ、無知などから詐欺の加害者となってしまうケースが増えているそうです。最近では、社会的な支援が広がっていて、入院時にすでに福祉とつながっている子もいるし、支援のおかげで犯罪に至らずに済んでいる子もいるのではないかとのことでした。

### 【支援内容】

自分の感情への気づきや自己統制力を高める取組み、美德教育などを実施。また、入院中に学習支援を受けたり、高卒認定や各種資格を取得することもできます。さらに、彼女たちの出身中学校と連携して卒業式などを行うこともあるようです。彼女たちにとって信頼できる大人の存在は大きく、出院後も、困ったときは電話や面談で相談に乗るなど、いつでも、いつまでも頼れる関係を築いています。

### 【課題等】

悩みをひとりで抱え込んでいたり、地域で孤立していたりと、本人の親にも支援や相談相手が必要だと感じるケースも多いそうです。市役所の福祉部門と連携できるのはとても心強いと、担当者は話していました。